



平成 21 年 1 月 20 日

各 位

会社名 エス ペ ッ ク 株 式 会 社
 代表社名 代表取締役社長 進 信義
 (コード番号 6859 東証・大証第1部)
 問合せ先 取締役常務執行役員 廣 信義
 (TEL . 06-6358-4741)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、前回発表（平成 20 年 8 月 8 日）した平成 21 年 3 月期の業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 21 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	40,000	2,300	2,400	1,400	59.00
今回発表予想 (B)	35,000	400	200	1,500	63.22
増減額 (B - A)	5,000	2,700	2,600	2,900	-
増減率 (%)	12.5	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	40,918	3,129	2,971	1,216	51.36

(2) 修正の理由

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、世界的な金融危機および円高の進行から、当社の主要顧客である LCD・半導体メーカーならびに自動車・エレクトロニクスメーカーの企業業績が大きく悪化するなど、下期に入り急速に厳しさを増しております。そのため、電子デバイス装置事業の悪化に加え、基幹事業である環境試験事業の受注高・売上高につきましても大幅に減少してきており、こうした当社業績に与える影響は今後も継続するものと予想しております。利益面につきましては、原価改善活動や大幅な経費削減など収益改善に取組んでおりますものの、当社想定を上回る急激な売上高の減少や為替変動の影響などにより、営業利益・経常利益ともに大幅に減少する見通しとなりました。また、今後もさらに厳しい経営環境が予想されることから、収益構造の抜本的改善に向けた事業所の統廃合や保有固定資産の選別などによる事業構造改善費用の計上を予定するとともに、株式市場の低迷状況から判断して投資有価証券評価損が発生する見込みであります。

以上の結果、売上高および利益面において、前回発表予想を大幅に下回る大変厳しい見通しとなりましたので、今回通期連結業績予想を修正いたします。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

(基準日)	1 株当たり配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	-	9.00	-	9.00	18.00
今回発表予想	-	9.00	-	5.00	14.00
当期実績	-	9.00	-	-	-
前期 (平成 20 年 3 月期) 実績	-	12.00	-	12.00	24.00

平成 20 年 3 月期配当金には、中間期および期末にそれぞれ 1 円ずつの創業 60 周年記念配当金を含んでおります。

(2) 修正の理由

当社は、株主のみなさまへの利益還元を経営の重要課題の一つと認識すると同時に、連結業績の配当性向 30%を目安に配当の決定を行っております。

前述のとおり、平成 21 年 3 月期 通期連結業績は当期純損失の見通しとなりましたが、継続した配当を実施していくことが株主さまへの利益還元として重要であるとの考えから、前期末比で減少となりますものの、5 円の期末配当を予定いたしましたので、上記のとおり、配当予想を修正させていただきます。

(注) 上記の業績予想および配当予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき合理的に判断して作成したものでありますが、今後さまざまな要因によって変動する可能性があることをご承知おきください。

以 上